

コミュニケーション技術 専門用語に慣れておこう

- ・ インテーク面接
初回面接、1回で終わらせる必要はない、相互確認と記録
- ・ バイステックの7原則
個別化、意図的な感情表出、統制された情緒関与、全人間像の受容、非審判的態度、自己決定、秘密保持
- ・ 予備的共感
事前情報をもとにクライアントの立場に立った見方を予測し共感的な姿勢を準備しておくこと
- ・ 波長合わせ
クライアントの反応に合わせて、相談援助者自らの態度、言葉遣い、質問形式を修正していくこと
- ・ オープンクエスション
開かれた質問
- ・ クローズドクエスション
閉じられた質問、はい・いいえで答えられる
- ・ スーパービジョン
上司や先輩からの指導・助言により相談援助者が自覚せずに行っている職業倫理違反を点検
- ・ アウトリーチ
援助を申し出てこない人に外側から手を差し伸べる

1

1

問題 46 面接場面におけるコミュニケーションの技術について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 波長合わせとは、相談援助者が、自らの態度、言葉遣い、質問の形式等をクライアントの反応に合わせて修正していくことである。
- 2 イラストや手話、ビデオ、写真、文字盤など多様な表現方法を利用することは、クライアントを混乱させるので、避けるべきである。
- 3 予備的共感とは、事前情報をもとに、クライアントの立場に立った共感的な姿勢を準備しておくことである。
- 4 クローズドクエスションは、相談援助者の意図を含むことによってクライアントの答えを誘導してしまうので、使用しない。
- 5 「励まし、明確化、要約」といった技術を活用して、クライアントと相談援助者がともにクライアントのかかえる課題を明確にしていく必要がある。

2

2

問題 47 インテーク面接について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 1回の面接で終わらせなければならない。
- 2 援助機関や援助者ができること及び提供できるサービスについて具体的に説明し、その説明に対するクライアントの反応を注意深く観察する。
- 3 クライアントに情報を提供したり、対人関係や環境整備についての助言や提案を行ったりすることも、必要である。
- 4 情報収集のため、アセスメント項目の順番に従ってすべて質問する。
- 5 援助機関に紹介された理由をクライアント自身が理解しているかどうかを確認することが、重要である。

3

3

問題 47 インテーク面接について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 相談援助者は、どのような援助ができるかについて説明する必要がある。
- 2 インテークは、初期の面接であるため、1回で終わらせる必要がある。
- 3 秘密が保持できる部屋の準備など、クライアントが話しやすい環境を整える必要がある。
- 4 クライアントの主訴に対して、相談援助者の所属する機関が対応できないことを明確に伝えるのは、望ましくない。
- 5 インテーク面接では、経過や課題について正確かつ迅速に記録する必要がある。

4

4

問題 48 ソーシャルワークの視点から、支援困難事例への対応として、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 複数の問題を抱えている支援困難事例については、各専門職がそれぞれ個別に対応することが望ましい。
- 2 地域から孤立しているクライアントの場合には、アウトリーチは有効な方法である。
- 3 アウトリーチの対象は、本人のみならず家族も含む。
- 4 利用者負担の大きさを理由にクライアントがサービスの利用を拒否した場合には、直ちに支援を中止する。
- 5 社会資源の不足により支援が困難な場合には、社会資源の開発が求められる。

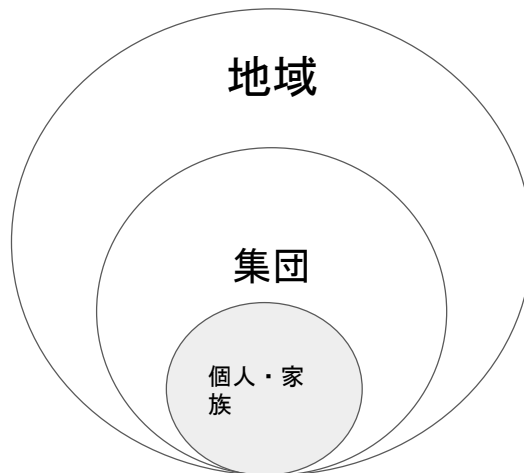
5

5

ソーシャルワークの対人援助技術

解き方ポイント

- ・主語は重要ではない
- ・相手方が誰なのか？で個別援助、集団援助、地域援助が決まる



6

6

問題 49 ソーシャルワークにおける地域援助技術として、より適切なものはどれか。

3つ選べ。

- 1 地域包括支援センターの社会福祉士による高齢者を虐待する家族への面接
- 2 NPOによる地域住民とともに行う地域開発
- 3 特別養護老人ホームの生活相談員による入所者に対するグループ活動
- 4 地域包括支援センターによる地域住民のための認知症サポーター養成講座
- 5 震災被災者に対する支援のためのボランティアの組織化

7

7

問題 48 ソーシャルワークにおける集団援助として、より適切なものはどれか。

3つ選べ。

- 1 精神科クリニックで行われる、アルコール依存症の当事者による分かち合いの体験
- 2 地域包括支援センターによる、介護に悩む家族を対象とした交流活動
- 3 福祉事務所で行われる、社会福祉主事による生活保護の相談面接
- 4 特別養護老人ホームの入居者と地域住民との交流を目的とした夏祭りのためのボランティアの募集
- 5 地域支援事業として行われる、虚弱高齢者のグループを対象とした介護予防活動への助言

8

8

問題 49 ソーシャルワークにおける地域援助として、より適切なものはどれか。

3つ選べ。

- 1 難病患者の家族の会による会員向けの介護体験報告会
- 2 社会福祉協議会による地域住民向けの生活支援サポーター養成講座の開催
- 3 地域包括支援センターに登録された虚弱高齢者向けの健康教室でのプログラム活動
- 4 精神障害者の地域移行のための病院や障害福祉サービス事業者、不動産会社等のネットワークの構築
- 5 自治体や社会福祉法人与大学との協働による認知症カフェの設置・運営